

Floppy's Phonics Stage 5 'Ice City'

p.1

お母さんとお父さんが、子どもたちをアイスシティというところへ連れて行ってくださいました。

「そのスーツケースはこちらへ」

p.2

「ここがアイスシティね」ビフが言いました。

「ステキ」

p.3

「全部氷でできてるんだ」チップが言いました。

「すごいなあ」

「かっこいい」

p.4

みんなはアイスパレスに行きました。そこにはおとぎ話の世界が広がっていました。

お話が氷で再現されているのです。

p.5

「あ、『長靴をはいたねこ』だ」キッパーが言いました。

p.6

「こっちは『マザーグース』ね」お母さんが言いました。

「このガチョウの群れを見て」

「ほんとうに上手ね」

p.7

「これ、誰だと思う？」ビフが言いました。

「洋服を見て」

pp.8-9

「ほら、シンデレラといじわるなお姉さんたちよ」ビフが言いました。

「お姉さんたちはシンデレラにいじわるをしたんだ」キッパーが言いました。

「王子様がガラスの靴を持ってるよ」

「ほんとにひどいお姉さんだよ」

p.10

今度はスケートに行きました。

キッパーはスケートが気に入らないようです。

「氷ってツルツルしすぎだよ」

p.11

あ、大変！ピフがチップの顔をたたいてしまいました。

偶然あたってしまったのです。

「痛いっ！あ、顔が…」

「あ、ごめん」

p.12

看護師さんがチップの顔を見てくださいました。そして「大丈夫よ」と言いました。

「痛いの痛いの、飛んでけ～」

p.13

「みんなそろそろ昼ごはんだな」お父さんが言いました。

「さあ、何か食べに行こう」

「ごめんね、チップ」

p.14

みんなはザ・アイスハウスという所に行きました。

ここも氷でできていました。

「やっと食事だ」

p.15

みんなはピザを食べて、ジュースを飲みました。

「コップまで氷だ」キッパーが言いました。

p.16

食事のあと、お父さんがボブスレーに乗り連れて行ってくれました。

p.17

「このボブスレーはガタガタゆれるぞ」お父さんが言いました。

「レースのときと同じだぞ」

p.18

スタートしました。

「本物のボブスレーみたい」キッパーが言いました。

p.19

「楽し～い」ピフが叫びました。

「ほんとうにレースみたいだね」チップが言いました。

p.20

日が沈み始めました。

「夕暮れのアイスシティよ」お母さんが言いました。

p.21

「夕日があたってキラキラしてる」チップが言いました。

p.22

月が出ました。

アイスシティは銀色に染まりました。

p.23

「月の光があたってキラキラしてる」ビフが言いました。

「すごく静かね」

「さあ、寝る時間だ」お父さんが言いました。

p.24

「最高の日だったわ」ビフが言いました。